令和４年度学校経営計画書

新見市立新見南小学校

○本校のミッション（使命，存在意義）

○新見南小学校児童の未来を保護者地域と共に創る。
○児童の未来創造のために，学校，地域，家庭のコミュニティづくりを推進する。
○Ｓｏｃｉｅｔｙ５．０時代を生きる児童の「考える力」を創造する。

○内外の環境分析

◆内部環境（＋）○児童数は１４０名前後で、全校の顔が見える環境である。素直で明るい児童が多い。
○学校統合を繰り返してきたが、最後の統合から６年が経ち、落ち着いた雰囲気になっている。
○学級数に比べ、教室数が多く、多目的に様々な用途に教室を活用できる。
○文部科学省ＧＩＧＡスクール構想によりＩＣＴ機器が充実している。また、堪能な教職員が多い。
◆内部環境（－）○学年毎の学力差が大きく、また個人差も大きい。読書量や家庭学習時間の二極化が見られる。
○学級毎に、支援を必要とする児童が多く在籍する。
○図工室を放課後児童クラブと共有している。
◆外部環境（＋）○豊かな自然や施設に恵まれ（石蟹山城　防災公園等）、様々な活動に生かすことができる。
○地域学校協働本部事業に積極的に取り組み、地域諸団体は学校に協力的で様々なかかわり合いがある。
◆外部環境（－）○学区が広いため、地域の結びつきが取りにくい傾向にある。
○市街地にあり、交通安全・生活安全等に十分な配慮が必要である。
○家庭環境の厳しい児童や支援を必要とする児童が在籍する。双方への支援が必要である。

○めざす学校像

・認めて，褒めて，伸ばす学校
・地域とともに成長する学校
・明るく，元気な学校

○めざす教員像

・自ら学び続ける教職員
・確かな力を持つ教育の専門家としての教職員
・同僚性を十分に発揮する教職員(共同体)

○当該年度の具体的な学校経営目標・計画

【学校教育目標】

わたしたちのふるさとを愛し、大人や友達と関わり支え合いながら、
自ら進んで学び続ける、心も体もたくましい子どもの育成

令和４年度テーマ　～考えよう　未来の自分～

め　ざ　す　児　童　像

	進んで学ぶ子(わくわく)	人や自然を大切にする子(きらきら)	心も体も健康な子(いきいき)
重点目標	１　主体的・対話的で深い学びのある授業の展開 ２　特別支援の視点を入れた授業づくり ３　学力調査の有効活用	１　思いやりと感謝の心の育成 ２　規範意識の醸成 ３　新見市ふるさとキャリア教育の推進 ４　論語学習の推進	１　体力づくりにつながる体育科の授業改善 ２　体や健康への関心の高揚 ３　メディアコントロール
重点目標の具体・評価指標	○基礎的な知識・技能を活用する能力の育成 ○協働的な学習活動の展開 ○基礎基本の定着(朝学習の活用) ○ＧＩＧＡスクール構想（ＩＣＴ機器を活用した授業展開） ○読書の習慣化 ○特別支援教室の設置・運営 ○ＵＤ（特に視覚支援）を取り入れた授業の充実 ○分析と対応→授業改善・サイクル化 ※コミスク会議への提言と助言	○集会活動他（人権標語・人権・ボランティア交流会）の活用 ○定期アンケート・教育相談の実施・充実 ○「履き物」を意識する習慣の定着 ○挨拶の励行（あいさつ運動） ○地域人材の活用（地域連携・小中連携） ○キャリアパスポートの活用 ○非認知能力の育成と意識付け ※コミスク会議への提言と助言	○できるようにする過程を楽しむ体育科の授業改善（挑戦課題を取り入れた授業構成） ○水泳・陸上運動練習の充実（放課後等） ○外遊びの励行 ○岡山県の施策への参加（チャレンジランキング等） ○食育指導・保健指導・薬物乱用防止・歯磨き指導等を活用した生活改善 ○チャレンジカードの取組と反省 ※コミスク会議への提言と助言

【教育活動に取り組むにあたり意識する点】

・地域の人・もの・ことと豊かにかかわり，自分を高める子どもの育成。
・一人一人の児童が自分のよさや可能性を認識し，自己肯定感を高めていく教育の実現。
・目標を定めて毎日コツコツ努力し自信をつけ，さらに次の目標に向かって自分から進んで挑戦する子どもの育成。
・お互いに認め合い，学び合うことができる共感的人間関係を育む授業の実現。

【非認知能力の育成】（教育理念）

「目標に向かってがんばる力」　「人と協力して働くための力」　「感情をコントロールする力」